



あとちかつよう  
町三小跡地活用ワークショップ2025

# まちさんかいぎ

ひろばなどの地域の居場所ができたら  
どんなことができるかな？

2025年10月26日（日）  
町田第三小学校体育館

ほんじつ

## ●本日のプログラム

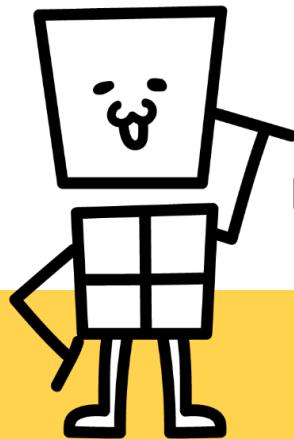
子ども向け	大人向け
はじめに・・・・・・・・・・・・	【4分】
町三小の次の使い方について、「まちさんかいぎ」の目的	【11分】
【お話】みんなの子ども食堂さくらんぼう 森下さん	【20分】
<移動しよう>	
Aグループ 2つのガリバーマップを つくろう！ ・・・【30分】	Bグループ どんなところができるか 体験してみよう ・・・【30分】
【お話】横浜市立大学大学院 三輪先生 【25分】	
ブレイクタイム (AとBで入れかわろう) 【10分】	ブレイクタイム (子どもの様子を見学) 【10分】
どんなところができるか 体験してみよう ・・・【30分】	2つのガリバーマップを つくろう！ ・・・【30分】
ディスカッション (森下さん、三輪先生への質問タイム) ・・・【30分】	
ガリバーマップを見てみよう！(発表) 【10分】	
まとめ(三輪先生) 【5分】	
市からのお知らせ・写真撮影 【5分】	

・パンを食べながらひと休み！  
・この時間で付せんに聞いてみたいことを書いておこう。

・帰る前にアンケートとメッセージリーニにコメントを忘れずに！

つぎ つか かた  
あとち かつよう けいい

# ①町三小の次の使い方について (町三小跡地活用の経緯)



こうきょうしせつさいへん  
町田市公共施設再編キャラクター  
まちロボ

# つぎ つか かた あとち かつよう けいい 町三小の次の使い方について（町三小跡地活用の経緯）



あとち かつよう けんとう

## ●跡地活用の検討スタート

2021年5月

あら すいしんけいかく さくてい  
「町田市新たな学校づくり推進計画」策定



2022年4月～

ちく あら  
あとち かつよう けんとう  
本町田地区の新たな学校づくりと合わせて、  
町田第三小学校跡地活用の検討をスタート



# つぎ つか かた あとち かつよう けいい 町三小の次の使い方について（町三小跡地活用の経緯）



## つぎ つか かた ●次の使い方がスタートするまでの流れ

2022年度

地域との意見  
交換・情報共有

2023年度

公共需要整理

2024年度

市民アンケート、  
ワークショップ

ワークショップでは、学校跡地がどうなっていくのがよいか、みんなで考えた！

話が早くまとまつたら2030年度にスタート予定！

2025年度

活用の  
方向性決定

2026年度

基本計画策定

2027年度

設計等

2028・2029年度

校舎の解体、整備等

2030年度

活用開始

次の使い方  
スタート！

本町田ひなた小開校

あとちかつようれんらくきょうぎかい  
町田第三小学校跡地活用連絡協議会

町三小閉校、学校跡地

使い方の大きな方向性を決めて、みんなにもっと町三小跡地のことを知つてもらうためにコンセプトブックを作成予定。

学校の周辺の町内会・自治会などのみなさんと話し合う場

かんが

# 町田市が考えていること けんとう じょうきょう (検討状況)



こうきょうしせつさいへん  
町田市公共施設再編キャラクター  
まちおさん

かんが

# 町田市が考えていること（検討状況）

けんとうじょうきょう



## ●2024年度の市民ワークショップのアイデア



会場内のパネルに昨年度の  
ワークショップの様子を  
紹介しています！

1組 体験を通じて世代を超えて「遊べる場」

2組 「ゆったり過ごそう みんなの居場所

3組 「あ！ここに行こう！」地域のいこいと交流の場

～みんなのサードプレイス～

かんが  
けんとうじょうきょう  
町田市が考えていること (検討状況)



●コンセプト (素案)  
そあん

Concept  
かつどう  
活動でみんながつながれる場  
“まちさんプレイス”  
ば

そあん  
(素案)

# かんが 町田市が考えていること (検討状況)



## ●コンセプト (素案)

### かつどう 活動でみんながつながれる場 “まちさんプレイス” (素案)

町田第三小学校は、教育活動の場としてだけでなく、地域に住んでいる人の活動の場として、長い間、活用されてきました。

町田第三小学校の跡地は、長い歴史の中で培った、地域から愛されているという強みを活かし、いろいろな地域活動ができる空間に生まれ変わります。

地域に住んでいる人や地域に関わっている人が、気軽に利用でき、そこに行くとホッとできる、そんな空間を「活動」・「交流」・「歴史」・「防災」などのキーワードを通して、いろんな世代がつながり合える、みんなの居場所（サードプレイス）を目指します。

かんが  
けんとうじょうきょう  
町田市が考えていること (検討状況)



## ● サードプレイスって？

だいさん いばしょ ばしょ  
第三の居場所といわれる場所。

こうえん としょかん こうきょうてき  
公園やカフェ、図書館といった **公共的なスペース。**

なら ごと しゅみ かつどう あつ  
習い事や趣味のサークル、ボランティア活動などの **人の集まり。**

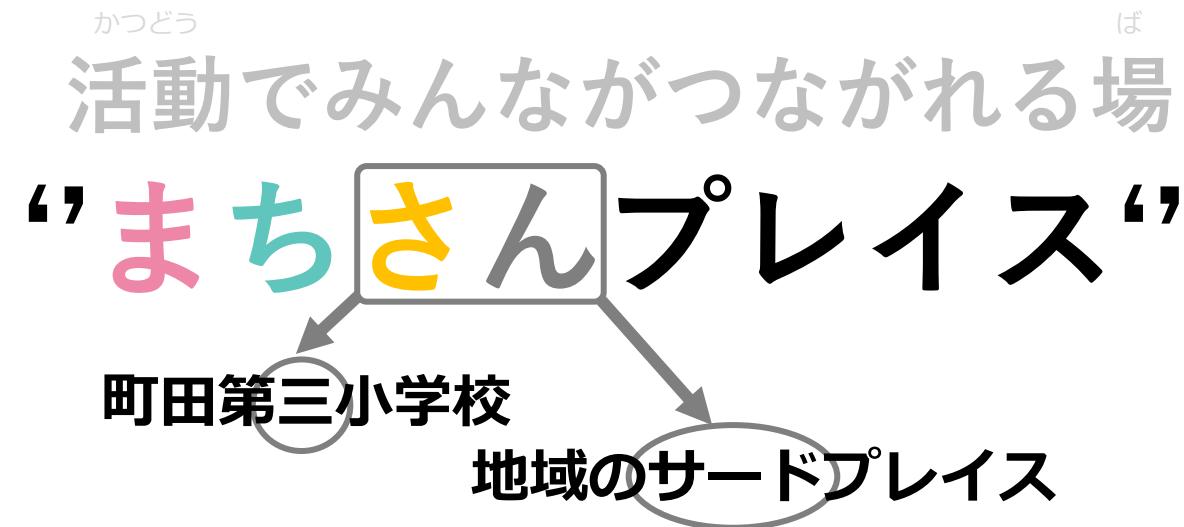
かてい じたく  
家庭や自宅 (ファーストプレイス)

しごと ばしょ  
仕事をする場所や学校など (セカンドプレイス)

かんが  
けんとうじょうきょう  
町田市が考えていること（検討状況）



● “まちさんプレイス”の由来



かんが  
町田市が考えていること (検討状況)



あとち つか かた  
●町三小跡地の使い方

あとち つか かた  
町三小跡地の使い方



さいがいじ  
災害時の使い方

にちじょう  
日常の使い方

かんが  
けんとうじょうきょう  
町田市が考えていること（検討状況）



あとち つか かた  
●町三小跡地の使い方

さいがいじ  
災害時の使い方  
つか かた

あんしん ぼうさい きよてん  
みんなが安心できる地域の防災の拠点

あとち ひなんしせつ きのう にな  
跡地になっても、地域の避難施設機能を担っていく。

ざいたくひなんしや ぶっし た もの の もの すいどう でんき  
在宅避難者への物資（食べ物や飲み物など）や水道、電気などの  
きょうきゅうきのう さいがいじょうほうきよてん きのう  
ライフラインの供給機能、災害情報拠点機能。

かんが  
町田市が考えていること (検討状況)



あとち つか かた  
町三小跡地の使い方

にちじょう  
**日常**の使い方  
つか かた

「さまざまな体験・活動ができる広場」機能

1

2

3

じゅう つか ひろば きのう  
「だれでも自由に使える広場」機能

ちいき いばしょ きのう  
「みんながつながれる地域の居場所」機能



# 町田市が考えていること（検討状況）



にちじょう つか かた

## ● 日常の3つの使い方

### 1 広場

### 「だれでも自由に使える広場」機能

▶ 地域イベント（お祭りや運動会など）がこれまで通り行うことができる。

▶ イベントの時以外はだれでも思い思いに過ごせる、使い方を限定しない居心地のよい芝生の広場づくりを目指す。

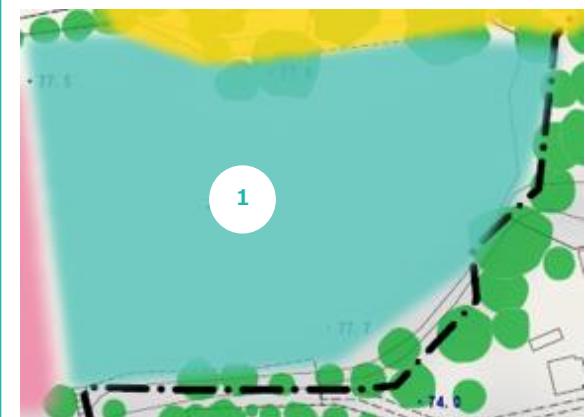
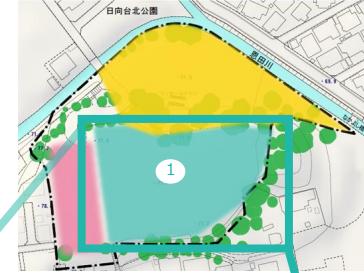
### 使い方のイメージ



【地域のお祭り】



【広場で思い思いに過ごす】



# 町田市が考えていること（検討状況）



## ● 日常の3つの使い方

### 2 広場

### 「さまざまな体験・活動ができる広場」機能



特徴のある地形を活かしたアクティビティなど町三小跡地ならではの体験ができる。

川からの浸水時にも影響が少ない設えで目的をもった活動  
(ex:ニュースポーツやドッグランなど) ができる場づくりを目指す。

### 使い方のイメージ



【農業体験・収穫体験】



【ニュースポーツなどを楽しむ】



# 町田市が考えていること（検討状況）



## ● 日常の3つの使い方

### 3 建物

#### 「みんながつながれる地域の居場所」機能

地域に住んでいる人や地域に関わりがある人が地域活動など、  
さまざまな目的で利用。

みんながつながれる居場所づくりを目指す。

災害時の地域の防災拠点としても位置付ける。

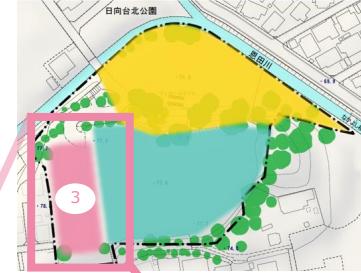
#### 使い方のイメージ



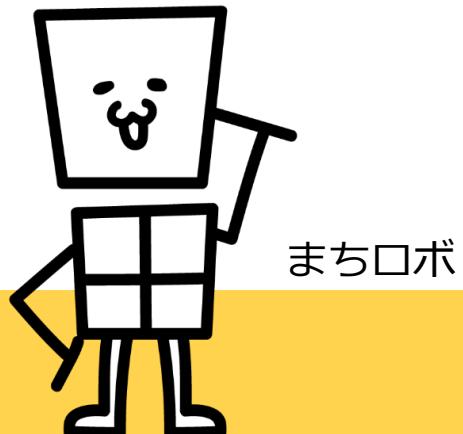
【みんなの居場所】



【シェアキッチン】



# 「まちさんかいぎ」の目的 もくてき



もくってき

## ② 「まちさんかいぎ」の目的



もくってき

### ● 目的

ちいき

いばしょ

ひろば<sup>ふく</sup>を含む地域の居場所で

どんなことができるか



はなし き

じっさい たいけん

かんが

お話を聞いたり、実際に体験してみて考える

## ② 「まちさんかいぎ」の目的



### ● どうやって考える？

#### ▶ 【子ども向け】と【大人向け】で分かれたプログラム



- ・ 2つのガリバーマップをつくろう！



- ・ どんなことができるか体験してみよう！

- ・ 【お話し】 みんなの子ども食堂さくらんぼう  
（森下さん、鹿島さん）  
「ひろばなどを使った地域の居場所づくりの取り組み」

- ・ 【お話し】 横浜市立大学大学院三輪先生  
「ひろばなどの地域の居場所があることの大切さ」